

新型コロナウイルス感染拡大のため発出されていました「緊急事態宣言」が「まん延防止等重点措置」に切り替わりました。感染防止策は引き続き油断することなく行っていかなければなりません。

授業参観につきましても、予定して下さっていたことと思いますが、やむを得ず一学期は中止とさせていただきます。しかし、個人懇談会につきましては、予定通り実施し、お子様の成長の様子をお伝えし、保護者の皆さまの想いをしっかりとお聴きできる有意義な会にしたいと思います。ご多用のことと存じますが、どうぞ万障繰り合わせてご出席いただきますようお願いいたします。

「もしも」の時に備えて

その4

救急救命教職員研修

6月16日(金)放課後の時間帯に、心肺蘇生法とAED(Automated External Defibrillator=自動体外式除細動器)の使用法について研修会を持ちました。

人が心停止になる原因の多くは、『心室細動』(心臓にある心室の複数の場所から無秩序に電気的な興奮が起こり調和のとれた心筋の収縮がなくなった状態・心臓からの血液の拍出が全くなくなる状態)を起こしていることが考えられます。

その場合、1分1秒でも早く“心肺蘇生・AED”措置を実施することで救命率が上がります。

生存退院率(社会復帰ができる状態)は、1分経過するごとに7~10%低下すると言われておりますので、傷病者の早期発見・早期対応が命を助けるための大事な行動ということです。

もちろん、心停止になるような事故が起きないことが一番ですが、「もしも、起こったら……」どうするのか? 普段から、もしもの時にそなえておくことは大切なことと肝に銘じているところです。

水泳指導について

ご承知の通り、「まん延防止等重点措置」の期間、大阪コロナ感染ステージは「レッドステージ」となりますので、水泳指導が実施できるかどうかは、まだ未定の状況です。

コロナ禍でなければ、学校での体育学習は夏の気候に合わせた運動領域「水泳」の学習を進めるところでした。「水泳」は、全身運動で心肺機能を高めることができ、バランスのとれた全身の筋力を養うこともできます。

このような運動の特性を生かした水泳指導ができないことは、とても残念なことです。現在の社会状況からは致し方ないと思います。

健康第一に考えて、柔軟に適切に学校教育をすすめていきたいと考えています。

(なお、夏季休業中の水泳教室は、枚方市立全小学校が実施しないことが決定されています。)

学校での取り組みの様子や子どもたちが頑張っている様子など、個人情報には留意しながら、日々、ブログ・ホームページを更新していますので、ぜひご覧になってください。

携帯サイト：
ブログQRコード



教職員が三つのグループに別れ、役割を交代しながら、互いに声掛けあって研修に励みました。